

令和6年度 技術・家庭（家庭分野） 第3学年 年間指導計画

三次市立十日市中学校

月	時数	題材名 (小題材名)	ねらい	評 価 規 準			学習指導要領
				ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度	
	3	定期試験					
4	0.5	自分の成長と家族・家庭 ・自分の成長と家庭生活との関わり	○自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて考えさせる。	・家族・家庭の基本的な機能について理解している。			A(1)ア
4 5 6	4	幼児の生活と家族 ・幼児の発達と生活の特徴, 家族の役割 ・幼児の遊びの意義, 幼児との関わり方	○幼児の心身の発達と幼児における周囲の人との信頼関係や生活習慣形成の重要性が分かり, 家族の役割について理解する。 ○幼児の遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。	・幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。			A(2)ア
7 9 10	6	日常食の調理と地域の食文化 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理 ・材料に適した加熱調理の仕方, 基礎的な日常食の調理 ・地域の食文化, 地域の食材を用いた和食の調理	○日常よく用いられる食品や調理用具等を取り上げ, 安全と衛生に留意した取り扱い方を理解し, 適切に管理できる。 ○材料に適した加熱調理の仕方について理解し, 基礎的な日常食の調理ができる。 ○地域の食材を用いた和食の調理を扱い, 地域の食材の良さや食文化について理解し, 和食の調理ができる。	・食品, 調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解している。 ・食品, 調理用具等の安全と衛生に留意した管理について適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解している。 ・基礎的な日常食の調理が適切にできる ・地域の食文化について理解している。 ・地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。			B(3)ア (ア) B(3)ア (イ) B(3)ア (ウ)
11	2	幼児の生活と家族 ・幼児との関わり方の工夫	○幼児との関わり方についての課題を解決するために, よりよい関わり方を考え, 工夫できる。	・幼児との関わり方を理解している。	・幼児とのよりよい関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ・幼児とのよりよい関わり方について, (実践に向けた計画を) 考え, 工夫して	・幼児とのよりよい関わり方について, 課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・幼児とのよりよい関わり方について, 課	A(2)ア A(2)イ

12					いる。 ・ 幼児との関わり方について実践を評価したり、改善したりしている。 ・ 幼児との関わり方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり、発表したりしている。	題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・ よりよい生活の実現に向けて、幼児とのよりよい関わり方について、工夫し創造し、実践しようとしている。	
1 2	2	家族・家庭や地域との関わり ・ 家族の協力と家族関係 ・ 家庭と地域との関わり，高齢者との関わり方 ・ 家庭生活をよりよくする方法及び地域の人々と協働する方法の工夫	○家庭生活と地域のかかわりについて理解する。 ○これからの自分と家族とのかかわりに関心をもち、家族関係をよりよくする方法を考える。	・ 家族の互いの立場や役割について理解している。 ・ 協力することによって家族関係をよりよく出来ることについて理解している ・ 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 ・ 高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解することができる。	・ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。 ・ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫している。 ・ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方	・ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・ よりよい家庭生活の実現に向けて、家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、工夫し創造し、実践しようとし	A(3)ア (ア) A(3)ア (イ) A(3)イ

					法についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり発表したりしている。	ている。	
--	--	--	--	--	---	------	--